



Title	目で見るWHO 第86号 表紙・目次等
Author(s)	弘川, 摩子
Citation	目で見るWHO. 2023, 86, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/93464
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

目で見る WHO

2023 秋号

No.86



Visual Journal of Friends of WHO Japan



公益社団法人

日本WHO協会

CONTENTS

P1	ごあいさつ	弘川 摩子
P2	巻頭特集	
	環境保全とレギュラトリーサイエンス	祖父江 友孝
P6	セミナー・イベント報告	
	1. 世界保健デー 2023	島津 美寿季
	2. G7 広島サミットに向けたプラネタリーヘルス大学間パネル	鹿嶋 小緒里
P14	国際保健を学べる大学・大学院	
	1. 東京医科歯科大学大学院国際保健医療事業開発学分野	中村 桂子
		田代 百合
	2. 北海道大学大学院国際感染症学院	磯田 典和
P18	留學生日記	
	PhD合格へ繋げた米国MSPHグローバルヘルス留学	Arisa Shichijo Kiyomoto
P20	WHO職員日記	
	2030年のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成に向けて	渡部 明人
P22	WHOニュース 5月／6月／7月	林 正幸 渡部 雄一
P28	関西グローバルヘルス(KGH)の集い	
	オンラインセミナー第7弾 「Health For All: 平和と紛争・戦争」	小笠原 理恵
P30	追悼：蟻田功さん「WHO栄光の時代を駆け抜けた先達」	中村 安秀
P32	書籍紹介コーナー	白野 倫徳 福井 沙織
P33	WHOの地域事務局と加盟国	
P34	日本WHO協会沿革／WHO憲章	
P36	模擬国連全日本大会／日本WHO協会 動画大募集！	
P37	寄付者のご芳名／編集委員のページ	林 正幸
P38	入会案内	

ごあいさつ



日本WHO協会理事
大阪府看護協会会長
弘川 摩子

コロナ禍における宿泊療養施設での看護

大阪府看護協会では、コロナ対応として、ワクチン接種 重症コロナセンターなどいくつかの事業を大阪府からの要請により協力してきました。その中で2020年4月24日から2023年5月8日まで宿泊療養施設の運営に携わりました。看護師の派遣は、延べ数で、52,909名であり、宿泊療養者延べ数は、1,156,405名です。2施設から始まり、最大で41施設まで拡大しました。当初は軽症者だけを対象としていましたが、治療法の進歩により療養施設内でも治療が行われるようになり、中等症や基礎疾患を持つ方や、認知症のある方などすべての年代を対象に看護介入を行ってきました。ここでは、健康観察を行うことが看護業務の中心ですが、電話を通しての観察であり、まさしく顔の見えない関係づくりとなりました。現場では、タブレットを使いながら電話での情報をアセスメントし入力する。そのほか、PPE着用での急変対応 オンライン診療 酸素濃縮器やハートラインを使い対応しました。携わった看護師は、潜在看護師 教育機関、医療機関で兼務許可が出る施設などから集まっており、潜在看護師の中には、海外で活動する看護師たちがコロナで活動が中止なったことによりこの事業に参加していました。

看護師にとって今までは対面で表情の確認や触診などでアセスメントを行っていましたが、1日2回の電話での健康観察は、電話から聞こえる声 息遣い 大きさ タイミング 話す内容など限られた情報から状態をアセスメントすることになりました。実際症状の悪化をキャッチし、入院へつなげることもあります。まさに聴覚を駆使した看護です。また、入所者の不安は、身体的不安だけではなく、隔離という状況から生まれる精神的な不安もありました。得られた情報は、しっかりと申し送りを行うことで直接会ってはいないものの入所者の人物像が見えてくると看護師たちは、言っています。

外国人も来られた為、英語 中国語 韓国語 ポルトガル語 フランス語 スペイン語 ベトナム語の問診票の作成 ポケットークや電話通訳サービスなどを活用しました。

「目で見えるWHO」でも世界で活躍した看護師の体験は、広く多くの方に情報発信できればと思います。看護職の活動を引き続き発信していきたいと思っています。

令和5年10月